

令和 2 年度
第 2 回大野市総合教育会議
会議録

日 時：令和 2 年 4 月 28 日（火）午後 4 時 30 分～4 時 47 分

場 所：結とびあ 305・306 号室

大野市総合教育会議

日時：令和2年4月28日（火）

午後4時30分～

場所：結とぴあ305・306号室

1 開会

2 市長あいさつ

3 協議事項

（1）小中学校の休業について

大野市総合教育会議出席者名簿

	役 職	氏 名
1	市長	石 山 志 保
2	教育長	久 保 俊 岳
3	教育委員	關 園 子
4	教育委員	馬 道 保
5	教育委員	松 谷 由 美

(事務局)

1	政策局長	真 田 正 幸
2	教育委員会事務局長	清 水 啓 司
3	教育総務課長	横 田 晃 弘
4	学校教育審議監	千 田 佐
5	生涯学習課長	横 井 一 博
6	スポーツ振興室長	多 田 直 人
7	文化財課長	佐々木伸治
8	教育総務課企画主査	竹 田 雄 次

<傍聴者>

0人

1 開会

【市長】本日は麻生教育委員から欠席の届出があったので報告する。

【教育総務課長】ただ今から、本年度第2回の大野市総合教育会議を開会する。

2 市長あいさつ

【市長】本日は緊急な招集にもかかわらずお集まりいただき感謝申し上げます。本日は、小中学校の休業についてご意見をいただきたい。よろしく願います。

3 協議事項

【市長】「(1)小中学校の休業について」を議題とする。

まず、決定事項をお知らせする。5月6日までとなっている市内の小中学校の臨時休業の期間を5月7日以降も引き続き延長する。休業期間は当面の間とする。

経緯としては、本日午後1時から福井県知事の記者会見が開かれ、県内では新型コロナウイルスの感染者数が落ち着いてきたが、全国的には新たな感染者が発生しており予断を許さない状況であること、そして、保護者の方々から、5月6日が近づく中で、今後、学校休業がどうなるのか不安だという声をお聞きして、今日の時点で方向性を出す決断をしたとの発表があった。その内容は、県立学校について当面の間休校を継続する、小中学校についても県立学校と同様の対応を要請するというものであった。この会見を受けて、早々に大野市としての対応を決定したいと考え、総合教育会議の開催に至った。

全国的な新型コロナウイルス感染症の感染者数の経緯や県内の状況を鑑みると、小中学校を当面の間休業することに私も賛成である。

県は今後の対応方針として、在宅授業を開始すること、5月7日、8日を入学式や登校日とすること、動画を用いた家庭学習支援を行うことなどを発表している。これらについては、小中学校の現場の状況があると思うので、教育委員会で対応を検討していただければと思う。

県は、学校を再開する場合には、1週間前までに周知することなので、準備期間を持って再開することになると考えている。

教育長から補足説明があれば願います。

【教育長】午前中に、県内17市町の教育長が県庁に集まり、教育長会議を開催した。各市町で状況が異なるので、様々な意見が出され、一つにまとめられるかというところと難しいところがあった。しかし、小中学校の休業継続については、全市町が休業を継続するという意向であった。具体的な対応については、大野市の状況、保護者や子どもたちの気持ちなどを勘案しながら教育委員会でしっかり検討していきたい。後ほど臨時教育委員会を開催するのでよろしく願います。

【市長】ご意見があれば願います。

【關委員】 県は学習動画を配信するとのことだが、結局は、子どもの気持ち次第となるところがあるので、本当は教員と対面で授業を受けられるのが一番望ましいと思う。そのあたりを汲んでもらえるとありがたい。

【松谷委員】 私も子どもがいるので、県のユーチューブのチャンネルを子どもに見せているが、子どもの自主性に任せてユーチューブを閲覧するように言ってもなかなか定着しない。子どもの性格もあるので、継続して閲覧できる子と途中で飽きてしまう子もいると思う。例えば民間の塾であれば、何曜日の何時にこういう内容を配信するので、その時間にはタブレットを開いてくださいと言ってくれる。そうすると子どもも、その時間には学習しようという気持ちの準備ができています。学校も1日に1時間でもいいので、子どもが自主的にタブレットを開いて学習できる時間を設定してもらえると良いと思う。

【教育長】 県の説明では、さらに学習支援の動画を増やしていきたいとのことであった。今までは予習的な内容であったが、教科書は使わなかった。しかし、これからは、教科書に沿って授業を進めるような内容にし、何月何日の何時から何年生のどの教科を配信するというスケジュールも示して進めていきたいとのことであった。

【松谷委員】 娘が高校1年生で動画を見ているが、予習的な内容が多いので、なかなか気持ちが入らず難しいと言っていた。そのように授業の内容を配信してもらえると良いと思う。

【市長】 一人の親として思うことは、学校が子どもたちの規則正しい生活のリズムを作ってくれていたということである。家庭でのコミュニケーションが行き詰ったときに、教員がそつと言葉を添えることで、前に進めるというような役割を果たしてくれていたと改めて認識した。この時間にこの授業をするという時間割のようなものができると、子どもにとって目標になるかもしれない。

【馬道委員】 私が勤務している中学校の様子を見ていると、1週間ごとに課題を出して翌週に提出するという形を取っている。大体の生徒はきちんと課題を提出しているようであり、分からないことがあると電話で質問してくる生徒もいる。家庭学習が十分ではないと思われる場合には、教員が生徒に電話で学習方法などのアドバイスを行っている。家庭での1日のスケジュールを学校が把握することはなかなか難しいが、学習についてはある程度上手く進んでいると思う。教員は1週間おきに生徒に電話をしており、家庭での様子を聞くなどしてコミュニケーションを取っている。

【市長】 これまでの休業期間中も子どもたちと丁寧に取り組んでもらい、思いやりのこもった対応をしてもらったと感謝している。

大変な時期を迎えているが、子どもたちの学業面はもちろんだが、精神面、体力面についてもご配慮願えればと思う。また、小学校での児童の預かりについても可能であれば引き続きお願いしたい。

4 閉会

【市長】 これをもって、第2回大野市総合教育会議を閉会する。

午後4時47分終了